

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和5年3月9日)

[件名]

- 島根原子力発電所1号機廃止措置の実施状況等について（第9報）
(原子力安全対策課) … 2

- 島根原子力発電所の安全対策等の状況について（第12報）
(原子力安全対策課) … 3

- 鳥取県版避難所運営ゲーム（HUG - ハグ）の完成について
(消防防災課) … 4

- 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について
(危機対策・情報課) … 5

危機管理局

島根原子力発電所 1号機廃止措置の実施状況等について（第9報）

令和5年3月9日
原子力安全対策課

中国電力は2月22日、島根原子力発電所1号機の廃止措置計画（平成29年4月19日認可）の第2段階（原子炉本体周辺設備等解体撤去期間）について、同段階で発生するクリアランス制度対象物の推定発生量等を検討し、廃止措置計画の策定を進めていく必要があるため、当面は第1段階を継続することを公表しました。

中国電力は昨年3月29日、クリアランス制度対象物の推定発生量等の検討に時間を要するため、第2段階の開始を1年程度延期（2023年度開始）する工程の変更届出を原子力規制委員会に提出しています。

1 島根原子力発電所1号機の廃止措置状況

（1）工程（2022年3月29日現在）

第1段階(解体工事準備期間)	2017年度～2022年度（6年）
第2段階(原子炉本体周辺設備等解体撤去期間)	2023年度～2029年度（7年）
第3段階(原子炉本体等解体撤去期間)	2030年度～2037年度（8年）
第4段階(建物等解体撤去期間)	2038年度～2045年度（8年）

（2）クリアランス制度に係る手続き等

2020（令和2）年4月7日、島根原子力発電所1・2号機の撤去済みのタービン設備を資源として再利用するため、原子力規制委員会へクリアランス測定・評価方法の認可を申請し、審査中。

現在、原子力規制庁からタービンの表面汚染密度に係る測定データの追加取得・分析を行うことが求められており、このたび、当該データの取得・分析が完了した。

※ クリアランス制度：原子力発電所で使用した資材等のうち、放射性物質の放射能濃度が極めて低く、人の健康への影響がほとんどないものについて、国の認可・確認を得て、普通の廃棄物として再利用又は処分できる制度。

（3）廃止措置の作業進捗状況

2017年度に認可された廃止措置計画に基づき、2045年までの約30年で島根原子力発電所1号機のすべての施設・設備を解体撤去する。現在は、第1段階（解体工事準備期間）を実施中。

第1段階中に、現在審査中のクリアランス制度対象物の審査状況を踏まえて、廃止措置に伴う固体廃棄物の発生量の詳細や一時的な貯増・保管場所等を定めることが必要。

項目	主な作業	期間
燃料搬出及び譲渡し	・新燃料の除染、搬出	2018.9.7 新燃料の搬出完了
汚染状況の調査	・原子炉格納容器内設備の放射化汚染調査及び評価	2017.8.9～実施中
	・管理区域内建物・機器の表面汚染調査及び評価	2017.7.28～実施中
汚染の除去	・除染範囲選定及び方法の検討	2017.8.28～実施中
管理区域外の設備・機器の解体撤去	・解体機器選定及び方法の検討	2017.8.9～実施中
	・管理区域外設備解体撤去工事（除じん機、原子炉建物空気冷却系冷凍機、海水電解装置）	2018.12.3～実施中

島根原子力発電所の安全対策等の状況について（第12報）

令和5年3月9日
原子力安全対策課

島根原子力発電所2号機及び3号機の原子力規制委員会による審査状況は次のとおりです（前回報告はいずれも2月14日の常任委員会です）。

1 島根原子力発電所2号機

令和3年9月15日発電用原子炉設置変更許可。

(1) 審査

ア 設計及び工事の計画認可申請の審査

平成25年12月25日申請。

3月2日に審査会合（7回目）が開かれ、設置変更許可の審査において詳細設計（設計及び工事の計画）の審査で確認するとして防波壁に設置する津波漂流物対策工（厚さ0.5mの鉄筋コンクリートを設置する）の詳細や防波壁の下にあるケーソンと呼ばれる水中構造物の健全性評価、原子炉建物の耐震評価等について説明がなされた。原子力規制委員会から異論は出なかった。

イ 保安規定変更認可申請の審査（前回報告から変化なし）

平成25年12月25日申請。

1月31日に補正書を原子力規制委員会へ提出。

(2) 安全対策工事（前回報告から変化なし）

中国電力は、工事完了予定時期を令和5年11月とし、2号機と3号機の安全対策費が合計6,800億円になる見込みを公表している。現在は防波壁の補強工事や津波漂流物対策工事、アクセスルートの改良工事等を行っている。

(3) 高経年化対策

2月28日に中国電力は、平成30年2月7日に提出した高経年化対策に係る保安規定変更認可申請の補正書を原子力規制委員会に提出した。今回の補正は、令和3年9月15日の原子炉設置変更許可（新規制基準合格）で追加された設備や見直された基準地震動に関する評価を反映するものである。

なお、高経年化対策に係る保安規定変更認可申請は、経年劣化を評価して今後必要となる保全活動を追加するもので、運転期間延長とは関係がない。

(4) 特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）の審査

平成28年7月4日申請。

2月14日に11回目の審査会合（非公開）が開催され、特定重大事故等対処施設に関する審査が行われた。2月21日に12回目の審査会合（公開）が開催され、所内常設直流電源設備（3系統目：バックアップ）に関する設計方針の変更案や電源喪失時の操作手順を説明し、原子力規制委員会から、当該直流電源設備の供給先を整理して示すよう求められた。

2 島根原子力発電所3号機（前回報告から変化なし）

平成30年8月10日申請。

令和4年12月13日に3回目の審査会合が開催された。

鳥取県版避難所運営ゲーム（HUG - ハグ）の完成について

令和5年3月9日
消防防災課

1 鳥取県版避難所運営ゲーム（HUG）（以下「鳥取県版HUG」という。）の作成

鳥取県では、鳥取大学の学生防災サークル「鳥大防災Lab.」と連携して、鳥取県版HUG作成に向けて令和2年度から議論を開始し、令和3年度より本格的な作業に入り、令和4年度内の完成を目指して作成活動を行ってきたところです。途中、コロナ禍での活動中断もありましたが、この度1月末に完成しました。

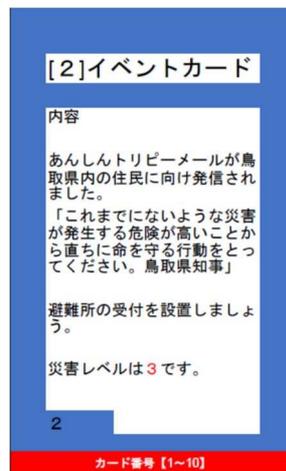
<避難所運営ゲーム（HUG）とは>

避難所運営ゲーム（HUG）とは、避難所運営を皆で考えるためのひとつのアプローチとして静岡県が平成19年に開発したもので、避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所の体育館や教室に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また避難所で起こる様々な出来事に対してどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

※HUG（ハグ）は、「H: Hinanjo 避難所、U: Unei 運営、G: Game ゲーム」の頭文字を取ったもの。

<鳥取県版HUGの特徴>

鳥取県版HUGは、静岡県から使用許諾を得て、鳥取県独自の内容に改編して作成したもので、災害の対象を洪水・水害、避難所を公民館とし、イベントカードにあんしんトリピーメールによる情報提供を取り入れ、避難者の名称を鳥取県内の地名にして親しみやすくするなど工夫しています。



2 地域防災リーダースキルアップ研修での実施

2月26日（日）に開催した「地域防災リーダースキルアップ研修」の中で、この度作成した鳥取県版HUGを演習として実施・公開しました。

(1) 地域防災リーダースキルアップ研修の概要

- 趣 旨 鳥取県中部地震の教訓を踏まえ、地域における防災活動の担い手となる地域防災リーダー等のスキルの向上を図り、地域防災力の充実強化を図ることを目的として平成29年度から毎年開催。
- 日 時 令和5年2月26日（日） 午後3時10分から5時まで ※研修は、午後1時から5時まで
- 場 所 鳥取県立倉吉体育文化会館 大研修室（倉吉市山根529-2）
- 関係者 （主催）鳥取県 （後援）倉吉市
- 参加者 自治会・自主防災組織構成員、消防団員、防災士、自治体職員等 68名
- 内 容 演習「鳥取県版避難所運営ゲーム（HUG）」
- 講 師 鳥大防災Lab.（鳥取大学防災サークル）5名
鳥取県災害福祉支援センター 特任参事 白鳥 孝太 氏

(2) 参加者の感想（一部抜粋）

- 非常に役に立ったので、今後も参加したい。地域から定期的に参加するようにしたい。
- 自分の知らなかった点を多面的に学ぶことができた。このような研修を今後も続けてほしい。
- 鳥取県版HUGをやって事前の準備が必要だと強く感じた。自分の地区でも是非やってみたい。



一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

令和 5 年 3 月 9 日
危機対策・情報課

【新規分】

主務課	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	工事内容	摘要
危機対策・情報課	鳥取県防災行政無線中継局 非常用発電設備更新工事	鳥取県全 域	中電工・寿電気特定 建設工事共同企業体	184,800,000円 (設計額 198,330,000円) 落札率93.2%	令和5年3月1日 ～ 令和5年11月30日	令和5年3月1日	【工事概要】 非常用発電機更新：8か所 耐雷トランス更新：8か所	制限付一般競争入札 3社 令和5年2月13日 開札